

4面

Man to Man Group  
u p が「読むカレンダー」制作

## 心温まる 読むカレンダー

### Man to Man Groupが制作

日本リガメント(本社名古屋市熱田区新尾頭一ノ二ノ一〇、田中正次社長、電話052・678・8100)を中核とする「Man to Man Group」は、心の洗われる「いい話」を掲載した読むカレンダーを七千部制作し、取引先などに配布している。百年に一度と言われる厳しい経済環境下。人と人とのつながりを大切に作る同グループが、少しでも幸せな気持ちになっしてほしいとの願いを込めて作り上げた。受け取った人から「思わず泣いてしまいました」と感謝の言葉が寄せられるなど、温かい感動を伝えている。

(津田一孝)

カレンダーや日めくたのは昨年で、全国の五千部を制作。好評だりには、見るたびに気新聞社に協力を求め、つたが、著作権の関係などを新たにしてもらおつと、格言やことわざ、偉人の残した言葉などが印刷されるケースは多い。しかし、あくまでも月日を示す数字が主役。ところが、カレンダーを見なくても月日を確認する手段は溢れているため、「むしろ言葉を主役にしてみよう」との発想から生まれたのが読むカレンダー。

最初にチャレンジし

今年、FM愛知で「今日のストーリー」という月曜日から金曜日までの番組がスタート。ちょっといい話や心温まる話を募集し、紹介している。そこで、同局の協力を得て、セレクトしたエピソードを掲載。このため、〇九年版で紹介しているのは、地元名古屋地区の人の体験談ばかり。

## "ちょっといい話" 紹介

### 取引先に7000部配布 幸せ届けたいと願い込め

「あたたまるね」(一、二月)、「元気がでるね」(三、四月)、「うれしくなるね」(五、六月)、「さわやかだね」(七、八月)、「ほろりとするね」(九、十月)、「ありがとつ」(十一、十二月)という構成。「お手洗いの壁に張ってこれを読み、手を洗うだけでなく、心も洗ってほしい」と、ベストな使用方法も推奨している。

日常生活の中の心温まるエピソードを集めて心の幸せを届けたいと制作した「読むだけでいいになれるカレンダー1200部」

